

災害時の「やさしい日本語」を考えよう ～はこだて防災マルシェ 2021 にてワークショップ～

JICA 北海道は、2021 年 10 月 31 日(日)に函館市地域交流まちづくりセンターで開催される「はこだて防災マルシェ 2021」において、「災害時の『やさしい日本語』を考えよう」と題したワークショップを行います。

2018 年 9 月 6 日の胆振東部地震から 3 年。北海道では外国人技能実習生や留学生といった外国籍住民の増加が進んでおり、地域における多文化共生の取り組みは不可欠となっています。「やさしい日本語」とは、日本語を母語としない外国人など、日本語の理解やコミュニケーションに関してなんらかの困難を抱えている人のために配慮した日本語のことです。1995 年の阪神淡路大震災をきっかけとして生まれたものと言われています。

本ワークショップでは、地域に住む外国籍住民を災害弱者としてとらえ、「誰ひとり取り残さない防災」を目指して、難解な表現が使われることの多い災害情報や、地域の災害に合わせた日頃の備えなどを、日本語を勉強中の地域に住む外国籍住民にも分かりやすいことばで伝えるコツを学びます。

JICA 北海道は SDGs (※) の推進に積極的に取り組むことによって、誰ひとり取り残さない、将来にわたって安心して心豊かに住み続けることができる地域社会の形成に取り組んでいます。

防災の視点から多文化共生の必要性を考える機会となりますので、是非取材をご検討ください。

「はこだて防災マルシェ 2021」内 ワークショップ:災害時の「やさしい日本語」を考えよう

開催日時 : 2021 年 10 月 31 日(日) 12:30～随時 各回先着 6 名まで (イベントは 10:00～15:00 開催)

内容 : 災害弱者である外国籍住民にも伝わりやすい「やさしい日本語」について知り、防災の視点から地域の多文化共生を自分事として考える

講師 : JICA 北海道(札幌) 国際協力推進員(外国人材・共生/函館デスク) 京野 宏美

会場 : 函館市地域交流まちづくりセンター 〒040-0053 函館市末広町 4 番 19 号

取材をご希望の場合は、**取材希望日の 2 日前までに**、以下問い合わせ先へご連絡をお願いします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 函館デスク 国際協力推進員(外国人材・共生) 京野 宏美

TEL:0138-86-7557 E-mail:jicadpd_desk_hkd@jica.go.jp

※SDGs(エスディーゼズ) 持続可能な開発目標とは、2030 年までに持続可能な世界の実現を目指すため、世界が合意した 17 の目標です。JICA は SDGs 達成に向けた取り組みを行っています。